

協定企業名	株式会社オンワードホールディングス	
交流行事名	協働の森交流・体験事業 間伐体験・交流会	
開催日時	平成 27 年 11 月 5 日（木） 10 時～13 時 30 分	
開催場所	オーベルジュ土佐山、高知市鏡吉原地区協定森林	
参加者	オンワード樫山社員 20 名 高知市、高知市森林組合職員及び高知県 8 名 総勢 28 名	
当日の様子	<p>今年 2 回目の間伐体験・交流会は、高知市鏡吉原からスタートしました。</p> <p>スタッフの紹介の後、高知市森林組合の高橋組合長から歓迎の挨拶がされました。</p> <p>挨拶もそこそこに、一行は今回の間伐体験現場へと移動します。これまで活動を行ってきた「オンワード“虹の森”」は間伐整備が完了し、今年度から新しく協定林となった高知市鏡吉原地区の市有林が、今回の活動場所となります。</p> <p>実はオンワードの皆さん、早朝から広島を出発されて、遠路はるばる 4 時間近くかけ車を運転して来られています。「タフ」の一言に尽きます。そして活動への意欲が、みなぎっていますね。</p> <p>参加者の車は鏡川上流域の急峻な山間をぬうように走り、40 分ほどかけて現場に到着しました。</p> <p>ヘルメットと軍手の配布が終わり、4 つのグループに分かれて、さっそく活動開始です。</p> <p>急な斜面を足元に気をつけながら下っていきます。昨日降った雨のせいか、林の中は少し湿気を帯びたひんやりとした空気に包まれています。</p> <p>今回は初心者の方が数名、後は経験者ばかりでしたので、ノコギリでの班とチェーンソーでの班に分かれて、間伐体験活動がスタートしました。</p> <p>1 班は初心者中心のノコギリ間伐班。高知市森林組合の方から伐り方の説明を受けています。受け口と追い口を木にチョークで線を入れ、それに沿ってノコを入れていきます。</p> <p>受け口を水平に切るのに手こずっていた様子でした。</p> <p>2 班ではチェーンソーで。トップバッターは女性の方です。森林組合の方にエンジンの掛け方から教わります。</p> <p>チェーンソーのエンジン音とずっしりとした手応えに緊張した様子に見うけられましたが、その後は無事 1 本、伐り倒しに成功していました。</p>	



3班では受け口と追い口を丁寧に入れたものの、木の重心が山側にあったのか、うまく倒れませんでした。最後は森林組合の方が力技で押し倒すこととなりました。



細い木とはいえ、その重さは結構あります。それだけに無事倒れたときの達成感も大きかったのではないのでしょうか。



4班ではうまく伐り倒せたようです。伐り株をみると、少し追い口の位置が高くなってしまったようですが、水平面はきれいに切れています。お見事です。



みなさんだんだんと上手く伐り倒せるようになってきました。



40分ほどの間伐体験活動も無事終了し、もと来た斜面をまた登っていきます。体力を使ったあとの上り坂って、結構ツライですね。

けど、この後はお楽しみの交流会。土佐の郷土料理とお酒（飲める方は）が待っています。





ホテル「オーベルジュ土佐山」に移動し、広場に机やイスをセッティング。今日の活動の労いの挨拶と乾杯の音頭とともに、交流会スタートです。

今回のメニューは、地元の食材を使ったお弁当に、高知名物かつおのタタキ、そしてあたたかい豚汁です。

みなさん美味しそうに食べながら、写真を撮ったり、話が弾んだり、楽しんでいる様子でした。



食事も終わり、全員で片付けをし、お開きとなりました。

これからまた4時間かけて広島まで帰るとのことですが、そんな苦勞をみじんも感じさせない晴れやかな表情のまま、高知を後にしたオンワードの皆さんでした。

本当にお疲れ様でした。

